

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|--------------------|------|-------------|----|---------|-------|---------|----|
| 専門分野区分 | デザイン・作画技法 | 科目名 | 基礎デザイン | | | | | 科目コード | D0410B1 | |
| 配当期 | 前期 | 授業実施形態 | 通常 | | | | | 単位数 | 4 単位 | |
| 担当教員名 | 中井 尚子 | 履修グループ | 1J(DG/DT/DW/MA/MT) | | | | | 授業方法 | 演習 | |
| 実務経験の内容 | 芸術大学美術科日本画専攻卒業後 パッケージ・広告・プロダクトのUI他、多種のデザインに携わり4社に勤務。その他 フリーランスとして絵画やイラスト、グラフィックデザイン作成等。これまでの経験を活かして指導を行う。 | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの視覚的な表現の基礎的な方法・技法・原理に対する理解を深める。 ・構成と心理について理解し、視覚伝達における訴求を踏まえた構成・構図ができる。 ・デザイン制作手法について理解し、効果的なデザイン制作ができる。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | デザインにおける基礎的な視覚伝達表現の方法と知識の習得を目標として平面構成を主体とした制作を課題として出題します。アイデアラフの作成でイメージを固め、計画的なデザイン制作を心がけて課題に取り組みましょう。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | 授業ごとに課題の要点を記したプリントを配布。 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 日常、目に触れるデザインに対し興味を持って接すること。課題テーマに関わる資料等を、各自で日頃から収集するなどデザインに対する関心を持つこと。 | | | | | | | | | |
| 使用機器 | 透明水彩絵の具、ポスターカラー、筆、筆洗、方眼三角定規、直定規、筆記用具 その他(スポイトや雑巾、紙パレット等) | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 1 | 【デザインの基本】デザインすることの意味を理解し、どのような手法を選ぶべきかを判断することができる。 | | | | | | | | |
| | 1 | 【構成エレメント】デザインを構成する要素(点・線・面・色・素材・空間など)を効果的に扱うことができる。 | | | | | | | | |
| | 1 | 【構成と心理】心理的効果を理解し、視覚的なメッセージをデザインで伝えることができる。 | | | | | | | | |
| | 1 | 【構成手法】デザインの構成手法を理解し、視覚表現に活かすことができる。 | | | | | | | | |
| 1 | 【表現手法】画材・素材の特性や扱い方を理解し、デザイン構成としてまとめることができる。 | | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | | 80 | | | 80 |
| | | 2.思考・判断 | | | | | | | | |
| | | 3.態度 | | | | | | | | |
| | | 4.技能・表現 | | | | | | | | |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | | 20 | 20 |
| 総合評価割合 | | | | | | 80 | | 20 | 100 | |
| 評価の要点 | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | | |

| | |
|-------------|---|
| 試験 | |
| 小テスト | |
| レポート | |
| 成果発表(口頭・実技) | |
| 作品 | 授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度と完成度から評価を行う。 ※画面をキレイに仕上げる。 ※課題が時間内に提出出来なかった場合は完成させて次回提出すること。 |
| ポートフォリオ | |
| その他 | 授業に対する姿勢や課題に対する取り組み。出席状況。 |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|---|-----------------|----------------|
| 第1回 | 【デザインの前に】画材について ・ポスターカラー着彩練習 | 講義・実習 | |
| 第2回 | 【構成エレメント】色と組み合わせ ・色面の構成 カラーブロック | 講義・実習 | |
| 第3回 | 【構成手法】遠近法 ・空気遠近法 グラデーション | 講義・実習 | |
| 第4回 | 【構成エレメント】バランス ・線と面による平面構成 | 講義・実習 | |
| 第5回 | 【構成と心理】視覚的メッセージ ・心理効果をふまえた構成「透明感」 | 講義・実習 | |
| 第6回 | 【構成手法】構成と心理(動き) ・平面構成「静と動」 | 講義・実習 | |
| 第7回 | 【構成手法】構成と心理 ・平面構成 色立体「四季」 | 講義・実習 | 配色カード・はさみ・のり持参 |
| 第8回 | 【構成手法】構成と心理(感覚) ・平面構成「イメージ」色と形 | 講義・実習 | |
| 第9回 | 【構成手法】透視図法(パースペクティブ) ・二点透視図法 立体感 | 講義・実習 | |
| 第10回 | 【表現技法】立体表現 ・三面図から想像して立体を描く | 講義・実習 | |
| 第11回 | 【構成手法】面と模様 ※透明水彩も可 ・ユニット構成 | 講義・実習 | |
| 第12回 | 【表現技法】合成 ・コラージュ「インパクト」または「笑い」 | 講義・実習 | 雑誌(材料)・のり持参 |
| 第13回 | 【表現技法】 ・音楽のイメージ | 講義・実習 | |
| 第14回 | 課題解決型授業1 【コンセプトアート】透明水彩使用 「空想の〇〇」 ※アイデアスケッチをクロッキー帳に描きUNIPAへ提出。 | 遠隔授業 実施時期:2期 | |

第15回

課題解決型授業2
【コンセプトアート】透明水彩使用
「空想の〇〇」完成
※画用紙に制作し提出。

遠隔授業
実施時期:4期

※画用紙持ち帰る